

2026年6月1日

取引先様各位

東京都墨田区両国4-38-12-302

有限会社ミレニアムプラン

〔代表取締役 辻村 誠司〕

弊社管理サーバーへの不正アクセスによる Web サイト一時閲覧不能に関するご報告とお詫び

拝啓

貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊社 Web サイト管理・保守業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2026年5月30日の未明より、弊社が管理しておりますサーバーにおきまして、一時的に Web サイトが閲覧できない状態が発生いたしました。取引先様ならびにご利用者の皆様には、多大なるご不便とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

本件につきまして、原因の調査および復旧作業が完了いたしましたので、下記のとおり詳細をご報告申し上げます。

記

1. 事故の経緯と原因

- ・発生日時：2026年5月30日 未明
- ・原因：弊社が利用しているレンタルサーバー（※皆様と共有している外部サーバー会社保有のネットワーク領域）内において、海外からの不正アクセス（マルウェア攻撃）が検知されました。
- ・サーバー会社の対応：攻撃の拡散を防ぎ、サーバー全体の安全を確保するための緊急防御措置として、サーバー会社側により一時的に外部からのアクセスが遮断されました。これにより、同サーバー内に収容されている Web サイトが一斉にダウンする事態となりました。

2. 事故の検証と解析結果

弊社にて今回の攻撃手法を解析いたしました。

弊社では、過去の教訓から犯罪者集団による外部攻撃を防ぐ強固なセキュリティシステムを構築・運用しておりました。しかし、今回の攻撃はこれまでのものとは性質が異なり、東南アジア諸国を中心とした「一般ユーザーの PC・端末」からのアクセスによるものでした。

これらは、端末の所有者が意図的に行ったものではなく、本人の気づかぬうちにマルウェア（ウイルス）に感染させられ、攻撃の踏み台（ゾンビ化）として一斉にアクセスを仕掛けてきたものです。

大変遺憾ながら、この最新かつ不可抗力的な分散型攻撃に対し、従来の防御システムでは完全に防ぎきることが困難であったことが判明いたしました。

※なお、マルウェアが仕込まれたのは同サーバー内の別領域であり、情報が漏洩したりした事実はありませんのでご安心ください。

3. 現状のご報告

サーバー会社と緊密に連携し、以下の対策を講じた結果、現在はすべてのWebサイトが正常に閲覧できる状態へと復旧しております。

- ・該当する不審なファイルの完全削除
- ・海外からのアクセスに対するブロック措置の適用

4. 今後の対応と再発防止策

セキュリティ上のリスクを最小限に抑えるため、今後は原則として「海外からのアクセスブロック」を解除せず、常時有効といたします。

なお、貴社のビジネス上、海外からのアクセス許可が特定地域で必要な場合は、個別に対策を検討いたしますのでご相談ください。

ITの世界において「完璧な防壁」を永続させることは困難であり、今後は日本国内の端末を踏み台にした攻撃や、日本国内に偽装したより巧妙な攻撃も予想されます。

弊社といたしましては、今後も最新の脅威トレンドを注視し、サーバー会社とも連携を図りながら、リスクを可能な限り低減させる対策を段階的に強化してまいります。

以上